



新改幸一議員

健康管理推進について

町長 / 生活習慣病の早期発見を

健康推進

新改 一日人間ドック受診者に対し節目の年に助成金交付で事業推進された。

町長 本年度は、35歳が

ら65歳までの5歳刻みの節目健診として実施しました。11月現在で一般コース17人、女性コース6人が受診しました。昨年度は234名でありました。今後、若年層の受診率向上対策が大きな課題であると考えております。

前年度同様に助成金を

町長 / 受診率向上を検討する

新改 人間ドックを利用された方々より、助成金

を前年度同様にしてほしいとの声を多く聞く。新年度計画はどのように考えているか。

町長 健診事業は医療費抑制を目指した保健事業であります。節目年齢受診をベースとしながら、働き盛りの40歳代、50歳代を手厚くフォローをするなど受診率が向上するような施策を検討し、来年度予算に反映させていきたいと考えております。



特定健診の様子

地域振興

菜の花プロジェクト振興を

町長 / 調査・研究を行い取り組む



山崎文久議員

山崎 環境にやさしい資源循環型の「菜の花プロジェクト」を振興し、地域興しの一翼を担うよう前向きに取り組む考えはないか。

町長 町広報紙等を活用し、菜の花プロジェクトの啓発活動を行い、又関係機関との連携により調査・研究を行います。菜の花プロジェクトに理解が得られるモデル的な地域の選定や町のプロジェクトチームの設置など検討しながら取り組んでまいります。



宮之城学校給食センター

地域農産物を学校給食に

町長 / 積極的な使用に努める

山崎 食の安心安全が問われる今日、栽培履歴の明確な地域農産物を学校給食に積極的に使用する考えはないか。

町長 給食センターでは可能な限り地元農産物を

使用する基本的な考えで運営しています。

近年、食の安全性が問われる中、安全な給食を提供する事は給食センターの最大の使命であり栽培履歴も有効な手段の一つとして取り組むよう努力します。

その他の質問

・「おにぎりの日」を推奨する考えはないか。